



次のステージへのエネルギー3

学校長 村越 新

本号は、子供たちに実施したものを紹介します。保護者の方同様に、大切に考えていかなければならない結果と受けとめています。

*評価の結果（上段はAとBの合計回答率、下段はAの回答率）

A「そう思う」 B「まあまあそう思う」

		令7	令6	令5	令4
①	学校は楽しいですか	90.5 48.9	91.9 53.7	91.5 50.4	94.4 59.2
②	心配なことは、先生にお話ししますか	46.8 13.1	45.6 13.8	44.0 12.5	48.3 13.5
③	授業は分かりやすいですか	87.7 43.1	89.0 43.8	87.2 42.1	92.5 48.7
④	授業中、集中して学習していますか	86.6 34.5	85.7 32.1	86.1 34.5	89.8 41.2
⑤	授業中、自分の考えを発表しますか	42.8 19.2	51.0 23.6	49.2 20.5	61.3 28.4
⑥	先生の話聞いていますか	95.1 51.8	95.2 51.4	95.1 49.9	96.1 57.6
⑦	忘れ物はしませんか	54.1 23.2	75.5 24.2	73.9 24.6	72.2 20.9
⑧	先生や友達にあいさつをしますか	82.7 42.1	87.9 52.7	87.3 51.1	89.3 53.5
⑨	宿題や自主学習はやりですか	93.5 65.1	93.1 70.3	88.2 56.9	96.1 77.4

*赤字は、昨年度を上回った項目です。大きな変化が2つの項目で見られます。指導の改善とともに、後日、追加の調査も行う予定です。

◆特に昨年度から下回った項目について

⑦「忘れ物はしませんか」

(21.4 pダウン)

→何をよく忘れるのか、忘れ物をしないための努力や工夫、忘れ物をしないための指導のあり方、忘れたときの学習などについて、調べていきたいと考えています。学校の指導に問題があるのかもしれませんが。

⑤「授業中、自分の考えを発表しますか」

(7.2 pダウン)

→自分の考えを持ち、それを表現することが学習の大きな目的です。手を挙げて、指名された子だけが、全体に向けて発表するような従前の一斉指導は本校ではほとんど行わなくなったことから、「発表」に対する子供の捉え方が違う可能性もあります。**ペアの子**にでも、**グループの子**にでも自分の考えを発表できれば良いと、本校では考えていることから、再調査を検討していきます。

◆二学期終業式で、「二学期振り返り」調査を行いましたので、その結果もお伝えします。

1	クラスの友達は、全員が自分にあいさつをしてくれる	41.6%
2	クラスの友達は、全員が、話を最後まで聴いてくれる	32.0%
3	クラスには、失敗を笑ったり馬鹿にしたりする友達はいない	55.8%
4	自分のクラスに、とても満足している	58.7%

「全員」「いない」「とても」などとあえて規準を高くして聞いてみました。

クラスごとに集計分析した結果、「失敗を笑ったり馬鹿にしたりする子がいない」クラスほど満足度が高いことが分かりました。当然かもしれませんが。「失敗を笑ったり馬鹿にしたりする子がいない」状況は、学校評価の「学校は楽しい」かの結果とも高い相関関係がありました。

始業式の校長の言葉の中にも「失敗を笑ったり馬鹿にしたりする子がいないクラスを**自分たちで**つくってほしい」とお願いしました。三学期は「楽しいクラス」から一歩進んで「**みんなが満足するクラス**」をつくってほしいと願っているからです。